



報道機関 各位

令和6年8月21日

【追加情報】

「7.13 水害から20年シンポジウム」を開催します

8月1日にリリースした「7.13 水害から20年シンポジウム」について、当初申込を必要としていましたが、申込不要となりました。

※駐車場について

中央公民館駐車場（駐車場①）の他、えちご中越農業協同組合見附東支店の駐車場（駐車場②）も利用可能です。

当日は、駐車場②と会場を往来する車両をご用意します。

（11時～13時、16時～17時において10分間隔の運行を予定）

——（以下、リリース済みの内容）——

平成16年7月新潟・福島豪雨（以下、「7.13 水害」という）から令和6年で20年の節目を迎えました。改めてこの豪雨水害を振り返り、また、得られた教訓を継承することで地域の防災意識の継続・さらなる向上を図るため、見附市でシンポジウムを開催します。

当日は、防災フェスを同時開催し、親子で楽しみながら防災に触れられるコーナーもご用意します。

●日にち 8月25日（日）

●場所 中央公民館（見附市本町2丁目5-9）

【7.13 水害から20年シンポジウム】

●時間 13:00～16:20

●内容 アトラクション、開会挨拶、講演、学習・活動発表、パネルディスカッション

【防災フェス】

●時間 9:00～16:20

●内容 キッチンカー、アクアプレイ、降雨体験車、はたらく車の展示、防災グッズ展示 など

【本件の問合せ先】

企画調整課危機管理室 担当：水嶋 ☎（0258）62-1700（内線312）

送信枚数 5 枚（この表紙含む）

発行者：見附市役所 企画調整課 秘書広報室 川上（内線316）

☎（0258）62-1700 FAX（0258）63-1006



「7. 13水害から20年シンポジウム」を開催します ～あの日のことを忘れないために～

○甚大な被害をもたらした「平成16年7月新潟・福島豪雨」から今年で20年を迎えるにあたり、改めてこの豪雨水害を振り返り、また、得られた教訓を継承することで地域の防災意識の継続・さらなる向上を図るため、8月25日（日）に見附市中央公民館でシンポジウムを開催致します。

○「防災フェス」を同時開催し、親子で楽しみながら防災に触れられるコーナーもご用意致します。

○シンポジウムはこれまで事前申込制としておりましたが、席に余裕がありますので、当日でも先着順で参加可能といたします。

○7.13水害から20年シンポジウム

1. 日 時：令和6年8月25日（日） 13：00～16：20
（開場： 12：00）
2. 場 所：見附市中央公民館大ホール（新潟県見附市本町2丁目5番9号）
（別添3を参照願います。）
3. 主 催：7. 13水害20年プロジェクト 実行委員会
4. 内 容：別添1のとおり

○防災フェス

1. 日 時：令和6年8月25日（日） 9：00～16：20
2. 場 所：見附市中央公民館（屋内及び駐車場）
3. 内 容：別添1のとおり

※当日取材をご希望の報道機関におかれましては、別添2の申込書に必要事項を記載のうえ、FAXまたはメールで送付願います。



↑7. 13水害20年プロジェクト
についてはこちら

＜同時配布先＞

県政記者クラブ、新県政記者クラブ、新潟市政記者クラブ、新市政記者クラブ、長岡市記者会、
長岡地域記者会、三条市記者室、見附市政記者会

＜お問い合わせ先＞



国土交通省 北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所

副所長（技術）松崎 竹史
流域治水課長 若杉 康夫
TEL (025) 266-7131（代表）
FAX (025) 266-7105（代表）



防災・減災
にいがたプロジェクト
2024



7.13 水害
20年プロジェクト
7.13 FLOOD DISASTER
20th PROJECT



7.13水害から20年 シンポジウム

参加
無料

2024 **8.25** SUN 13:00~16:20

会場 見附市中央公民館「大ホール」(見附市本町2丁目5番9号)

プログラム (敬称略)

●アトラクション(13:00)

越後見附太鼓

●開会挨拶(13:20)

見附市長 稲田 亮

●講演(13:30)

講演①「最近見られる四季折々の気象状況と台風や集中豪雨時にやるべきこと」
樋ノ浦 重嗣(BSN新潟放送 技術部長/気象予報士)

講演②「災害時報道とその裏側～あの時何が起こっているのか～」
酒田 暁子(BSN新潟放送 報道部長/防災士)

●学習・活動発表(14:30)

「今町中学校の防災学習の取り組みについて」
見附市

●パネルディスカッション(15:00)

テーマ : 「地域防災と住民避難」

コーディネーター : 大塚 悟 (長岡技術科学大学 教授)

パネリスト :

稲田 亮 (見附市長)

樋ノ浦 重嗣 (BSN新潟放送 技術部長)

酒田 暁子 (BSN新潟放送 報道部長)

岡村 勝元 (平成16年当時消防本部消防長)

災害対策本部と見附市消防本部において、消防長として避難・救助対応の陣頭指揮を担った。現在は、赤十字奉仕団新潟県支部委員会委員長、新潟県赤十字安全奉仕団委員長として地域のボランティア活動に従事。

山田 淳一 (平成16年当時青年会議所理事長)

全国青年会議所のネットワークを生かし、青年会議所理事長としてボランティアの指揮監督を担った。現在は、市内の設備会社の代表取締役社長や見附管工事業協同組合理事長などを務める他、NPO法人キズナの森の代表理事として地域の資源を活かし防災意識を高めキズナを深める仕組みづくりと、人が集う交流の場を創造し、住民が互いに支えあう協働のまちづくりなどに従事する。

大塚 守明 (平成16年当時中央公民館長)

中央公民館長として避難所開設公民館の指揮監督を行い、中央公民館の避難所運営管理を担った。現在はNPO法人川に学ぶ体験活動協議会(RAC)として、刈谷田川かわまちづくり実行委員会の水害・水防教室・Eポート体験など防災教育活動に従事する。

北村 秀子 (現まちなか東ふるさとセンター長)

7.13水害において被災した経験を踏まえ、中央公民館の避難所設営・運営業務などに従事する。

シンポジウムの内容

甚大な被害をもたらした平成16年7月新潟・福島豪雨から20年の節目を迎え、改めてこの豪雨水害を振り返ることで、地域の危機意識の向上・継続を図るとともに、この災害で得た教訓をしっかりと次世代へ継承し続けていくことを目的としたシンポジウムを開催します。

同時開催

防災フェス

9:00~16:20

ご家族みんなで防災！
記念シールをプレゼント

キッチンカー



アクアプレイ



防災グッズ展示



降雨体験車



はたらく車展示



※送付票は不要です。

FAX番号 025-231-2043

信濃川下流河川事務所 流域治水課 行き

または

メールアドレス shinage@hrr.mlit.go.jp

7. 13水害から20年シンポジウム 取材申込書

取材を希望される報道機関の方は、必要事項を記入いただき、FAXまたはメールの送付をお願いします。

FAX・メール送付期限：8月22日（木）12時まで

1. 会社名 : _____

2. ご氏名 : _____
(代表者のみ)

3. 連絡先 : _____

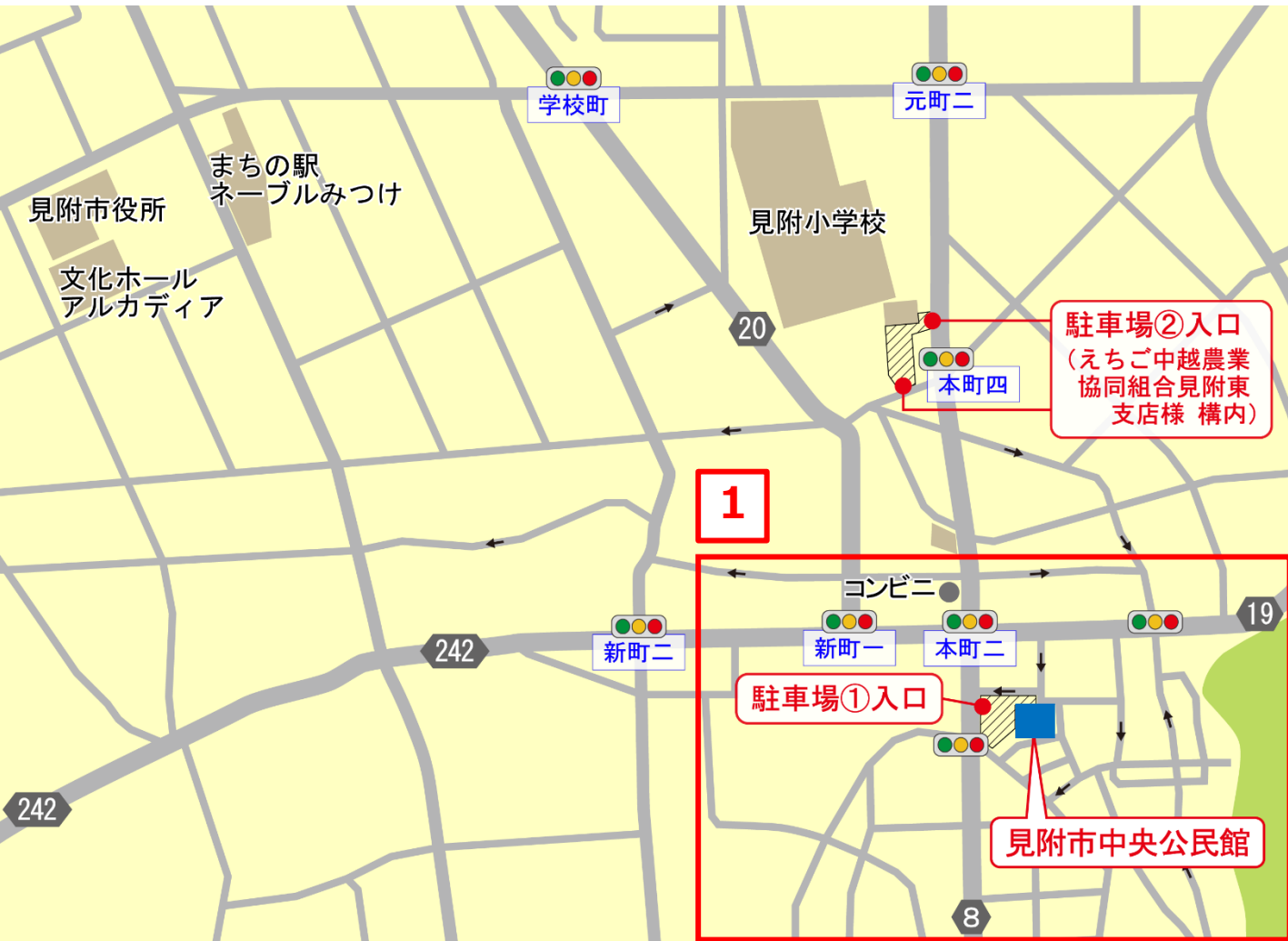
4. 人数 : (代表者を含む) _____ 人

5. テレビカメラの有無 : 有 ・ 無
「有」を選択した場合 _____ 台

6. 駐車台数（お車でお越しの場合） : _____ 台
(会場内駐車場の台数に限りがございますので、可能な限りお乗り合わせのうえお越しください。)

【会場案内図】

別添 3



1 拡大



受付場所



※会場内の駐車場①には限りがあるため、近隣の駐車場②（えちご中越農業協同組合見附東支店様 構内）をご案内することがございます。

なお、当日駐車場②と会場を結ぶ車両をご用意いたします。

（11時から13時、16時から17時で10分間隔の運行を予定しています。）